



新しい職員のご紹介

今年の4月から青山病院で働かせていただいている本石千尋です。
 私は香川県三豊市出身で広島県呉市に引っ越してきてまだ3年目なので、まだまだ呉市について知らない事ばかりです。
 私は看護学校卒業後、総合病院で7年間働きました。広島県に来てから一時休職していた時期もあるため新たな環境での就職に不安いっぱいでしたが、先輩看護師の皆様によさしく丁寧な指導をしていただき毎日楽しく働いています。
 私はいつも笑顔を大切にしている青山病院でも笑顔で思いやりのある看護を提供したいと思っています。
 私は4人兄妹の3番目で姉のおかげで看護師を目指す事ができました。



年が離れた兄妹ですがとても仲の良い兄妹です。
 仕事以外では自分から積極的に話をすることがあまり得意ではないので私に興味のある方はどんどん話しかけてください。
 不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが宜しくお願いいたします。

贈与いただきました。



この度、患者様のご家族様より当院へ輸液ポンプを贈与戴きました。
 職員一同心より御礼申し上げます。
 頂戴しました輸液ポンプは透析室で大切に使用させていただきます。

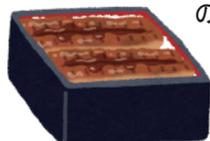
制服が変わりました。

この度、介護部の制服が新しくなりました。
 紺色とピンク色、各々の好みで着用します。
 是非これからも宜しくお願いいたします。



「土用の丑の日」は立夏・立秋・立冬・立春直前の約18日間の期間で、「土用の丑の日」とは土用の期間中の丑の日という意味です。
 土用の丑の日といえば鰻ですが、土用の丑の日に鰻が食されるようになった理由に平賀源内説があります。江戸時代、鰻の蒲焼は味が濃い食べ物という事もあり、夏は敬遠される事が多く、困った鰻屋が夏でも鰻が売れるように源内に相談したところ、源内は、「丑の日だから、『う』のつくものを食べる」と縁起が良い」という語路合せを考え、鰻屋の店の前に「本日土用の丑の日」と書いた看板を置かせたという逸話です。
 しかし平賀源内が残した書き物の中にこのお話は全く出てこず、どうも眉唾らしいというのが現在では定説になっていきました。
 別の説として、土用丑の日は虚空蔵菩薩信仰の禁忌として鰻を食べない風習があり、この日は鰻の売れ行きが芳しくなると値段が下がってしまいが、安くなくなった鰻を庶民が買いたため土用丑の日に鰻を食べる様になったというお話もあります。
 ところで、「万葉集」の中に大伴家持が詠んだ「石麻呂に吾れもの申す夏瘦せよ」といふものぞ、むなざ（鰻）とり召せ」とい歌があり、この歌は「家持」から「石麻呂」への「戯笑歌（茶化す歌）」なので、この歌を崩しても、既に奈良時代には体調を崩しやすい夏にはウナギを食べるはあつたようです。
 事実は、ウナギにはビタミンAやビタミンB群など、疲労回復や食欲増進に効果的な成分が多く含まれており夏バテ防止にはピッタリの食材といえるでしょう。
 これから気温も上がり体調管理が重要な季節となりそうです。
 今年の土用の丑の日は鰻を食して夏バテに備えようか。

土用の丑の日



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
 土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
 休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医 (※先月から一部変更となっております：青字部分)

月曜日	午前：青山	午後：内科 (交代制)	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：卜部・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：井科 (脳神経内科)	午前：内科 (交代制)

季節の風景



もうすぐ夏